

令和4年度

明治杯全日本選抜レスリング選手権

(6月16~19日、東京・駒沢体育館)

報道資料 (各階級展望)

各階級のエントリー選手は、東京オリンピック代表、2021年世界選手権代表、昨年の全日本選手権の当該階級の1~3位選手以外は、アイウエオ順で記載。選手の略歴は協会データベースを参照ください。 [協会データベース] <https://db.japan-wrestling.jp/>

《2022年シニア世界選手権・代表選考基準》

※《令和4年度代表選考基準》より抜粋。世界選手権は9月10~18日、セルビア・ベオグラード)

ア、2021年天皇杯全日本選手権大会優勝者と2022年明治杯全日本選手権大会優勝者が同一の場合は、この優勝者を選出する。

イ、2021年天皇杯全日本選手権大会と2022年明治杯全日本選抜選手権大会の優勝者が異なった場合は、プレーオフを行い、勝者を選出する。

※明治杯当日での当該階級の全試合終了後に行う。

ウ、2021年天皇杯全日本選手権大会優勝者または2022年明治杯全日本選抜選手権大会優勝者のどちらかが辞退した場合は、どちらかの優勝者を選出する。

エ、2021年天皇杯全日本選手権大会優勝者または2022年明治杯全日本選抜選手権大会優勝者の両者が辞退した場合は、選出優先順位は、下記とする。

- ① 2022年明治杯全日本選抜選手権大会2位
- ② 2022年明治杯全日本選抜選手権大会3位
- ③ 2021年天皇杯全日本選手権大会2位
- ④ 2021年天皇杯全日本選手権大会3位

オ、選出された代表選手が怪我をした場合は、レスリング協会専属ドクターの指示に従う。

カ、上記のもので派遣できない場合は過去の実績をもとに強化委員会が決定する。

◎女子

【50kg 級】 =10 選手

須崎優衣 (キッツ)

《2021 年東京オリンピック優勝》

吉元玲美那 (至学館大)

《2021 世界選手権優勝／

2021 年全日本選手権優勝》

伊藤 海 (早 大)

《2021 年全日本選手権 2 位》

坂本由宇 (神奈川大)

櫻井はなの (育英大)

中村未優 (Sports Design Lab)

眞柄美和 (愛知・至学館高)

森川晴凧 (愛知・至学館高)

宮原乙葉 (育英大)

米原実穂 (至学館大)

東京オリンピック金メダルの須崎優衣 (キッツ) が約 10 ヶ月ぶりに大会に出場する。全日本選手権 2 連覇の吉元玲美那 (至学館大) が世界選手権とアジア選手権を制した実績を携えて挑む。

両者はこれまで 2 度対戦しており、2018 年ジュニアクイーンズカップでは須崎が 11-0 でテクニカルフォール勝ちしているが、2019 年の同大会では須崎が 2-1 で勝利。実力は接近している。

全日本選手権で吉元と接戦を展開し、1-2 で惜敗した伊藤海 (早大) の殊勲達成はあるか。

【53kg 級】 =10 選手

藤波朱理 (日体大)

《2021 世界選手権優勝

／2021 年全日本選手権優勝》

入江ななみ (ミキハウス)

《2021 年全日本選手権 2 位》

奥野春菜 (自衛隊)

《2021 年全日本選手権 3 位》

東京オリンピック金メダルの志土地真優 (旧姓向田) は 55kg 級にエントリー。国内外で白星街道 (97 連勝中) を突き進む藤波朱理 (日体大) に、全日本選手権 2 位の入江ななみ (ミキハウス)、同 3 位の奥野春菜 (自衛隊) が挑む図式が継続される。

世界選手権とアジア選手権を連覇した藤波が 2 人との実力差を広げているか、入江と奥野の巻き返しなるか。

片岡梨乃 (早 大)

木村彩夏 (法 大)

佐々木花恋 (日本大)

清水美海 (日本大)

下野佑実 (育英大)

中川夏希 (同志社大)

服部里桜 (法 大)

【55kg 級】 =11 選手

志土地真優（ジェイテクト）

《2021 年東京オリンピック 53kg 級優勝》

今井佑海（日大）

《2021 年全日本選手権優勝》

田村生吹（日体大）

《2021 年全日本選手権 2 位》

吉柴未彩輝（大東文化大）

《2021 年全日本選手権 3 位》

伊藤乃愛（至学館大）

太田若那（東洋大）

大野真子（日体大）

清岡もえ（育英大）

五味音々（育英大）

高山凜子（至学館大）

長谷川華子（日大）

東京オリンピック 53kg 級優勝の志土地真優（旧姓向田＝ジェイテクト）が階級を上げて復帰参戦する。2016・18 年世界選手権は 55kg 級で優勝している。初めての階級ではなく、むしろ“本来の階級”。どんな実力を見せるか。

アジア選手権で優勝した今井佑海（日大）は、世界ジュニア選手権（53kg 級）を含めて国際大会を 7 大会連続で優勝継続中。志土地が東京オリンピック決勝で闘った中国選手にも勝った実績を持つ。志土地の壁を破って世界へ飛躍できるか。

全日本選手権 2 位の田村生吹（日体大）、ジュニアクイーンズカップ優勝の清岡もえ（育英大）らの殊勲はあるか。

【57kg 級】 =9 選手

南條早映（東新住建）

《2021 年世界選手権 3 位

／2021 年全日本選手権 2 位》

櫻井つぐみ（育英大）

《2021 年世界選手権 55kg 級優勝

／2021 年全日本選手権優勝》

永本聖奈（至学館大）

《2021 年全日本選手権 3 位》

新井一花（愛知・至学館高）

中村成実（法 大）

岩網瑠夏（至学館大）

水瀬琉奈（神奈川大）

山口夏月（至学館大）

山内奏美（神奈川大）

東京オリンピック金メダルの川井梨紗子は出産直後のため不出場。櫻井つぐみ（育英大）と南條早映（東新住建＝当時至学館大）で争った全日本選手権決勝が再現されるか。櫻井が終了間際の逆転で勝った接戦だった。櫻井は昨年の世界選手権 55kg 級のチャンピオンで、今年のアジア選手権 57kg 級でも優勝。南條は昨年の世界選手権のこの階級の 3 位。

全日本選手権 3 位の永本聖奈（至学館大）が両者の優勝争いを阻止できるか。2019 年世界カデット選手権 57kg 級を制し、今年ジュニアクイーンズカップ優勝の岩網瑠夏（至学館大）、昨年のインターハイ優勝の山口夏月（至学館大）らの若い力が台頭するか。

【59kg 級】 =10 選手

岩網さら (至学館大)

《2021 年全日本選手権優勝》

徳原姫花 (自衛隊)

《2021 年全日本選手権 2 位》

田南部夢叶 (レスターホールディングス)

《2021 年全日本選手権 3 位》

浅井紅吏 (法 大)

大橋海寛 (至学館大)

岡田純奈 (日体大)

今 佑海 (リバーサルジム新宿 Me,We)

友口怜奈 (日本文理大)

丸未永海 (愛知・至学館高)

元木咲良 (育英大)

全日本選手権を制し、アジア選手権でも勝った**岩網さら (至学館大)** は、2019 年全日本女子オープン選手権から国内外の 6 大会連続優勝を継続中。昨年全日本選手権では、3 試合を無失点のフォールかテクニカルフォールで圧勝し、頭一つ抜け出している実力を見せた。今回も勝ち抜くか。

全日本選手権 2 位の**徳原姫花 (自衛隊)**、同 3 位の**田南部夢叶 (レスターホールディングス)**、昨年 57kg 級 2 位で今年のジュニアクイーンズカップ U20 を制した**元木咲良 (育英大)** らの殊勲はあるか。

【62kg 級】 =7 選手

川井友香子

(サントリービバレッジソリューション)

《2021 年東京オリンピック優勝》

尾崎野乃香 (慶 大)

《2021 世界選手権 3 位

／2021 年全日本選手権優勝》

類家直美 (至学館大)

《2021 年全日本選手権 2 位》

坂野結衣 (警視庁)

《2021 年全日本選手権 3 位》

稲垣柚香 (至学館大)

小玉彩天奈 (MTX ACADEMY)

惣崎優音 (日体大)

東京オリンピック金メダルの**川井友香子 (サントリービバレッジソリューション)** が復帰して参戦する。挑む一番手は**尾崎野乃香 (慶大)**。昨年世界選手権は 3 位に終わったが、今年 4 月のアジア選手権で東京オリンピック 2 位・昨年世界チャンピオンを破って優勝した。これまで両者の対戦はなく、闘うことになれば初顔合わせ。

全日本選手権 2 位の**類家直美 (至学館大)**、全日本学生選手権優勝の**稲垣柚香 (至学館大)** も優勝戦線に加わる力は十分。昨年 2 位の**坂野結衣 (警視庁)**、同 3 位の**小玉彩天奈 (MTX ACADEMY)** の巻き返しはあるか。

【65kg 級】 =7 選手

森川美和 (ALSOK)

《2021 年世界選手権 2 位》

／2021 年全日本選手権優勝》

源平彩南 (アイシン)

《2021 年全日本選手権 2 位》

今井海優 (自衛隊)

《2021 年全日本選手権 3 位》

寺本 鈴 (山梨学院大)

平井かえで (育英大)

吉川かりん (福岡大)

吉武まひろ (日体大)

全日本選手権で 2 連覇し、アジア選手権でシニア初の国際大会優勝を飾った森川美和 (ALSOK) が、全日本選手権決勝で破った源平彩南 (アイシン) を再度退けるか。

源平は負傷から復帰して 3 大会目。2018 年 U23 世界選手権優勝のときの実力を取り戻しているか。

昨年大会と全日本選手権で 3 位の今井海優 (自衛隊) が壁を破れるか。ジュニアクイーンズカップ U20 優勝の吉武まひろ (日体大) ら若手の台頭はあるか。

【68kg 級】 =4 選手

宮道りん (日体大)

《2021 年世界選手権 2 位》

松雪成葉 (ジェイテクト)

《2021 年全日本選手権優勝》

石井亜海 (育英大)

《2021 年全日本選手権 2 位》

小林久美 (福岡大)

東京オリンピック代表の土性沙羅は不出場。昨年の世界選手権でオリンピック・チャンピオンを破って 2 位となった宮道りん (日体大) は、負傷で全日本選手権を棄権した。回復具合はどうか。

その間に全日本選手権を制した松雪成葉 (ジェイテクト = 当時至学館大) が、優勝を引き寄せるか。昨年のこの大会では、本戦、プレーオフで宮道に敗れており、リベンジしての世界選手権出場を目指す。

全日本選手権 2 位の石井亜海 (育英大) は 4 月のジュニアクイーンズカップで優勝 (他階級と合わせて通算 3 連覇)。強敵を退けてのチャンピオン奪取なるか。

【72kg 級】 =8 選手

古市雅子（自衛隊）

《2021 世界選手権代表優勝》

新倉すみれ（神奈川大）

《2021 年全日本選手権優勝》

水島京香（日体大）

《2021 年全日本選手権 3 位》

小林奏音（専大）

高田こな（日体大）

中村 旭（東京・日体大桜華高）

藤倉優花（育英大）

和地美咲（日体大）

全日本選手権で初出場初優勝を達成した新倉すみれ（神奈川大）が、ジュニアクイーンズカップ U20 で 2 連覇のほか、アジア選手権 2 位と国際舞台で経験を積んだ。この大会の優勝、そして世界選手権出場を目指す。

昨年の世界選手権を制した古市雅子（自衛隊）が、全日本選手権 68kg 級への挑戦を経て（初戦敗退）、この階級に戻ってきた。世界に輝いた階級で実力を発揮するか。新倉にとっては正念場となろう。

アジア 2 位の実績を持つ全日本選手権 2 位の進藤芽伊は負傷で欠場。同 3 位の水島京香（日体大）が優勝争いに加われるか。

【76kg 級】 =5 選手

松雪泰葉（ジェイテクト）

《2021 年世界選手権 8 位》

鏡 優翔（東洋大）

《2021 年全日本選手権優勝》

山本和佳（至学館大）

《2021 年全日本選手権 2 位》

齋藤未来（小田開発工業）

《2021 年全日本選手権 3 位》

長島水城（大東文化大）

東京オリンピック代表の皆川博恵は不出場。全日本選手権で優勝し、4 月のアジア選手権 2 位の鏡優翔（東洋大）が、再度国内を制するか。昨年大会は、松雪泰葉（ジェイテクト＝当時至学館大）に本戦、プレーオフとも敗れ、世界選手権出場を逃した。リベンジしての世界への切符を目指す。

松雪は、全日本選手権は負傷したまま出場し、最後は棄権して 4 位に終わった。負傷の回復具合はどうか。昨年と同じく本戦とプレーオフを勝ち抜いて 2 年連続での世界選手権出場なるか。

全日本選手権決勝で鏡に 2-2 の惜敗だった山本和佳（至学館大）が、今度こそ壁を破れるか。

◎男子グレコローマン

【55kg 級】 =10 選手

松井 謙 (日体大)

《2021 年世界選手権優勝
／2021 年全日本選手権 2 位》

塩谷 優 (拓 大)

《2021 年全日本選手権優勝》

尾西大河 (早 大)

《2021 年全日本選手権 3 位》

荒木瑞生 (九州共立大)

岡本景虎 (専 大)

駒井大輝 (近 大)

塩崎泰隆 (日体大)

杉本陸斗 (日本大)

二宮健斗 (日本文理大)

山際航平 (日体大)

昨年の全日本選手権決勝は、アジア王者・塩谷優(拓大)と世界王者・松井謙(日体大)との対戦になり、塩谷が快勝した。塩谷は今年もアジア選手権を制して実力をアピール。世界王者のリベンジなるか。

昨年大会 2 位で全日本選手権 3 位の尾西大河(早大)は JOC 杯 U20 で優勝し、勢いをつけている。全日本学生選手権優勝の荒木瑞生(九州共立大)、同決勝で荒木に惜敗して 2 位に終わった塩崎泰隆(日体大)が優勝争いに加われるか。

【60kg 級】 =11 選手

文田健一郎 (ミキハウス)

《2021 年東京オリンピック 2 位》

鈴木絢大 (レスターホールディングス)

《2021 世界選手権 7 位
／2021 年全日本選手権優勝》

稲葉海人 (日体大大学院)

《2021 年全日本選手権 2 位》

河名真偉斗 (自衛隊)

《2021 年全日本選手権 3 位》

大河原蔵之介 (日体大)

五味虹登 (育英大)

曾根敬次郎 (専 大)

堤 孔一 (青山学院大)

藤波諒太郎 (自衛隊)

藤本蔵馬 (中京学院大)

松本健新 (神奈川大)

東京オリンピック銀メダルの文田健一郎(ミキハウス)が、約 10 ヶ月ぶりに復帰参戦。強さを見せつけるか。昨年の全日本選手権を制した鈴木絢大(レスターホールディングス)はアジア選手権で 2 年連続銅メダルを獲得し、世界で通じる実力をつけている。文田の牙城に迫ることができるか。

全日本学生選手権優勝、昨年のこの大会と全日本選手権とともに 2 位の稲葉海人(日体大大学院)、全日本大学グレコローマン選手権優勝で全日本選手権 3 位の河名真偉斗(自衛隊)、昨年 4 位の藤波諒太郎(自衛隊)らが優勝戦線に浮上できるか。

【63kg 級】 =12 選手

池田龍斗 (日体クラブ)

《2021 年全日本選手権 2 位》

矢部和希 (栃木県スポーツ協会)

《2021 年全日本選手権 3 位》

有賀丈竜 (日体大)

太田陸斗 (立命館大)

大場哉音 (中 大)

小柴亮太 (佐賀中部農林事務所)

長澤勇人 (和歌山県協会)

濱口奏琉 (大体大)

三井 潤 (明 大)

丸山蒼生 (日体大)

丸山千恵蔵 (日体大)

吉永光輝 (近 大)

全日本王者の清水賢亮は階級アップ。空いた座をだれが奪うか。昨年優勝の山田義起は引退し、出場選手の優勝チャンスは広がっている。

全日本学生選手権優勝で全日本選手権 2 位の池田龍斗 (日体クラブ)、昨年 3 位で全日本選手権も 3 位の矢部和希 (栃木県スポーツ協会)、全日本大学グレコローマン選手権優勝の小柴亮太 (佐賀中部農林事務所) らの社会人選手が優勝を争いそう。

全日本学生選手権 2 位の有賀丈竜 (日体大)、JOC 杯 U20 優勝の丸山千恵蔵 (日体大) らの若手の台頭はあるか。

【67kg 級】 =12 選手

清水賢亮 (自衛隊)

《2021 年世界選手権 63kg 級 3 位

／2021 年全日本選手権 63kg 級優勝》

遠藤功章 (東和エンジニアリング)

《2021 年全日本選手権優勝》

曾我部京太郎 (日体大)

《2021 年全日本選手権 2 位》

吉永信太郎 (自衛隊)

《2021 年全日本選手権 3 位》

太田楓輝 (育英大)

石原三四郎 (中 大)

伊藤由信 (専 大)

井ノ口崇之 (自衛隊)

上垣勇二 (自衛隊)

豊田峻真 (拓 大)

西田衛人 (専 大)

二俣友明 (島根・隠岐島前高教)

63kg 級で昨年の世界選手権 3 位の清水賢亮 (自衛隊) が階級を上げて参戦。全日本王者の遠藤功章 (東和エンジニアリング) がどう迎え撃つか。2018 年 U23 世界選手権 63kg 級王者の遠藤は、今年のアジア選手権で 3 位入賞。この階級の国際大会で活躍する実力をつけている。

全日本学生王者で全日本選手権 2 位の曾我部京太郎 (日体大)、同 3 位の吉永信太郎 (自衛隊)、昨年 3 位の井ノ口崇之 (自衛隊) らが優勝戦線に浮上するか。

全日本大学グレコローマン選手権優勝の二俣友明 (島根・隠岐島前高教)、同 72kg 級優勝で階級を下げた西田衛人 (専大) らの学生選手の健闘も注目される。

【72kg 級】 =11 選手

井上智裕 (FUJIOH)

《2021 世界選手権 16 位

／2021 年全日本選手権優勝》

高橋昭五 (三恵海運)

《2021 年全日本選手権 2 位》

寺田靖也 (明大クラブ)

《2021 年全日本選手権 3 位》

稲葉洋人 (青山学院大)

春日井湧雅 (日体大)

小林大悟 (拓 大)

佐々木航 (拓 大)

仲泊勇之介 (東洋大)

原田真吾 (育英大)

堀江耐志 (自衛隊)

矢部晴翔 (日体大)

全日本選手権の決勝を争った井上智裕 (FUJIOH) と高橋昭五 (三恵海運) の闘いが再現されるか。2 人は兵庫・育英高の監督 (井上) と教え子 (高橋)。アジア選手権で銅メダルを獲得した高橋は、その勢いをもって今度こそ恩師越えを果たさねばなるまい。

昨年のアジア選手権 3 位でこの大会 2 位の堀江耐志 (自衛隊)、全日本学生選手権優勝の矢部晴翔 (日体大)、全日本大学グレコローマン選手権 2 位の稲葉洋人 (青山学院大) らが台頭するか。

【77kg 級】 =10 選手

屋比久翔平 (ALSOK)

《2021 年東京オリンピック 3 位》

日下 尚 (日体大)

《2021 年全日本選手権 2 位》

前田明都 (レスターホールディングス)

《2021 年全日本選手権 3 位》

今村大地 (日 大)

掛水 力 (日本文理大)

小堀雄大 (東洋大)

堀北一咲望 (日体大)

水口竣介 (拓 大)

山崎然生 (明 大)

山田 脩 (日体大)

東京オリンピック銅メダルの屋比久翔平 (ALSOK) がエントリー。強さを見せるか。

全日本選手権優勝の櫻庭功大は負傷欠場。全日本選手権 2 位で学生二冠王者 (全日本学生選手権・全日本大学グレコローマン選手権) の日下尚 (日体大) が、その牙城を崩せるか。

全日本選手権 3 位の前田明都 (レスターホールディングス)、昨年 4 位の山田脩 (日体大)、JOC 杯 U20 優勝の堀北一咲望 (日体大) がオリンピック銅メダリストにどこまで迫れるか。

【82kg 級】 = 11 選手

岡嶋勇也 (警視庁)

《2021 年全日本選手権優勝》

田中真男 (奈良・天理教校学園高コーチ)

《2021 年全日本選手権 2 位》

川村洋史 (自衛隊)

《2021 年全日本選手権 3 位》

青山夢斗 (周南公立大)

梶浦敦規 (天理大)

窪田大羅 (中 大)

高原崇陽 (専 大)

玉岡颯斗 (早 大)

樋口徹心 (日体大)

藤井達哉 (後藤回漕店)

山口蓮汰 (神奈川大)

全日本選手権決勝を争った岡嶋勇也 (警視庁) と田中真男 (奈良・天理教校学園高コーチ) の優勝争いが再現されるか。勝って 2 度目の全日本王者となった岡嶋は 4 月のアジア選手権で 5 位入賞を果たした。その経験を生かせるか。田中は地方在住選手の意地を見せられるか。

昨年 2 位で全日本選手権 3 位の川村洋史 (自衛隊) が壁を乗り越えられるか。昨年 3 位の藤井達哉 (後藤回漕店)、全日本学生選手権優勝の樋口徹心 (日体大) らの殊勲はあるか。

【87kg 級】 = 10 選手

角 雅人 (自衛隊)

《2022 年全日本選手権優勝》

阪部 創 (自衛隊)

《2021 年全日本選手権 2 位》

向井識起 (自衛隊)

《2021 世界選手権 82kg 級 11 位

／2021 年全日本選手権 3 位》

岩井知史 (明 大)

塩川貫太 (長野県協会)

島田京介 (神奈川大)

濱田浩暉 (中京学院大)

林 秀悟 (日体大)

宮本海渡 (日体大)

目黒優太 (国士舘大)

角雅人、向井識起、阪部創の自衛隊選手の激しい争いが展開されそう。いずれも全日本チャンピオンの経験があり、世界選手権出場の経験も持つ (向井は 82kg 級での全日本王者、世界選手権出場)。

全日本選手権は、優勝=角、2 位=阪部、3 位=向井の順。今回の順位はどうなるか。

全日本学生選手権 2 位の宮本海渡 (日体大)、JOC 杯 U20 優勝の岩井知史 (明大) らが、上位に食い込めるか。

【97kg 級】 = 11 選手

奈良勇太 (警視庁)

《2021 世界選手権 22 位》

鶴田峻大 (自衛隊)

《2021 世界選手権 87kg 級代表

／2021 年全日本選手権優勝》

仲里優力 (佐賀県スポーツ協会)

《2021 年全日本選手権 2 位》

天野雅之 (中大職)

《2021 年全日本選手権 3 位》

加藤大翔 (国土舘大)

芹川力亜 (日体大)

中原 陸 (大東文化大)

長友大生 (中京学院大)

丸山純樹 (静岡県協会)

山本純大 (拓 大)

吉村海里 (国土舘大)

昨年の世界選手権 87kg 級代表の鶴田峻大 (自衛隊) が階級を上げて全日本選手権を制した。4 月のアジア選手権では銅メダルを獲得し、階級アップ後の成績は順調。今大会も栄冠を勝ち取るか。

この階級の世界選手権代表だった奈良勇太 (警視庁) は、全日本選手権では学生二冠王者 (全日本大学グレコローマン選手権、全日本学生選手権) の仲里優力 (佐賀県スポーツ協会 = 当時日体大) に敗れるなどして 4 位に低迷した。再浮上なるか。

奈良の壁を乗り越えた仲里は、決勝で敗れた鶴田にリベンジして王座を引き寄せたいところ。

同 3 位決定戦で奈良を破ったベテランの天野雅之 (中大職) が優争いに加わることができるか。

【130kg 級】 = 8 選手

園田 新 (ALSOK)

《2021 年世界選手権 16 位

／2021 年全日本選手権優勝》

奥村総太 (拓 大)

《2021 年全日本選手権 2 位》

河野隆太 (あづまフーズ)

《2021 年全日本選手権 3 位》

小畑詩音 (日体大)

佐々岡誇仁 (中京学院大)

西村麻凜 (国土舘大)

宮内勇真 (神奈川大)

山田康瑛 (山梨学院大)

この階級の第一人者の園田新 (ALSOK) が、2014 年から昨年まで 7 連覇中。世界選手権代表も譲っていない。4 月のアジア選手権ではモンゴル選手を破って 5 位に入った。その勢いをもち込めるか。

昨年 12 月の全日本選手権では、3 試合すべてで無失点のフォールかテクニカルフォールで勝利。日本選手相手にポイントを取られたのは 2017 年国体までさかのぼる。

全日本学生選手権を制し、全日本選手権 2 位の奥村総太 (拓大)、全日本大学グレコローマン選手権優勝の小畑詩音 (日体大) らの学生勢が、どこまで迫れるか。

◎男子フリースタイル

【57kg級】 = 12選手

阿部敏弥 (国士舘大職員)

《2021世界選手権 7位》

／2021年全日本選手権 3位》

長谷川敏裕 (三恵海運)

《2021世界選手権 61kg級 3位》

／2021年全日本選手権優勝》

竹下雄登 (日体大)

《2021年全日本選手権 2位》

新井陸人 (自衛隊)

小野正之助 (山梨学院大)

田南部魁星 (日体大)

鴫田昇大 (明大)

藤田雄大 (自衛隊)

山口太一 (早大)

山根典哲 (拓大)

弓矢健人 (日体大)

弓矢暖人 (日体大)

東京オリンピック代表の高橋侑希は不出場。昨年の世界選手権 61kg級 3位で、階級を落として全日本選手権を制した長谷川敏裕 (三恵海運) が今大会でも強さを発揮するか。

世界選手権 7位の阿部敏弥 (国士舘大職員)、昨年のアジア選手権 3位で全日本選手権 2位の竹下雄登 (日体大) がどう挑むか。今年のアジア選手権に繰り上げて出場した新井陸人 (自衛隊) は銅メダルを獲得。これをきっかけに国内のトップグループへ食い込みたいところ。

昨年 2位の藤田雄大 (自衛隊)、学生二冠王者 (全日本学生選手権・全日本大学選手権) の弓矢暖人 (日体大)、東日本学生リーグ戦で弓矢を破る殊勲を挙げた昨年のインターハイ王者の小野正之助 (山梨学院大) にも上位を狙う実力は十分。ハイレベルの激戦が予想される。

【61kg級】 = 12選手

榊 流斗 (山梨学院大)

《2021年全日本選手権優勝》

樋口 黎 (ミキハウス)

《2021年全日本選手権 2位》

小川航大 (自衛隊)

《2021年全日本選手権 3位》

小石原央義 (周南公立大)

島谷 侃 (早大)

但野 航 (ニトリ)

徳力哲太 (専大)

中村勇士 (日体大)

深水小鉄 (東洋大)

藤田 颯 (早大)

森川海舟 (拓大)

山崎万里 (日体大)

全日本選手権優勝の榊流斗 (山梨学院大) に同決勝で敗れた 2016年リオデジャネイロ・オリンピック 57kg級 2位の樋口黎 (ミキハウス) がリベンジに挑む。

榊は、5月の東日本学生リーグ戦は負傷で欠場しており、その回復具合はどうか。樋口はアジア選手権出場の機会を得て、優勝して力を見せた。国内のトップに立って国際舞台に再進出したいところ。

全日本選手権 3位の小川航大 (自衛隊)、全日本大学選手権優勝の森川海舟 (拓大) が優勝争いに加われるか。

【65kg 級】 =9 選手

山口海輝 (日体大)

《2021 世界選手権 11 位

／2021 年全日本選手権優勝》

安楽龍馬 (nobitel)

《2021 年全日本選手権 2 位》

上野裕次郎 (栃木県スポーツ協会)

《2021 年全日本選手権 3 位》

青柳善の輔 (山梨学院大)

飯田 蓮 (周南公立大)

清岡幸太郎 (日体大)

諏訪間新之亮 (国士舘大)

堤 泰樹 (日体大)

徳力貫太 (専 大)

東京オリンピック優勝の乙黒拓斗は不出場。全日本選手権 2 連覇を達成した山口海輝 (日体大助手) が、昨年の世界選手権出場を経て今年のアジア選手権 3 位と実力をつけている。今回も勝ち抜いて世界選手権のマットに進むか。

全日本選手権 2 位の安楽龍馬 (nobitel)、同 3 位の上野裕次郎 (栃木県スポーツ協会)、全日本学生選手権優勝の諏訪間新之亮 (国士舘大) らが、その牙城に挑む。

JOC 杯 U20 優勝の青柳善の輔 (山梨学院大)、東日本学生リーグ戦で青柳を破った昨年 61kg 級 2 位の清岡幸太郎 (日体大)、全日本学生選手権 2 位の堤泰樹 (日体大) らの突き上げも期待されよう。

【70kg 級】 =11 選手

成國大志 (MTX GOLDKIDS)

《2021 年全日本選手権優勝》

高田 熙 (日体大)

《2021 年全日本選手権 2 位》

計良涼介 (早 大)

《2021 年全日本選手権 3 位》

畔上浩輝 (近 大)

飯田翔真 (山梨学院大)

大野恵太郎 (日体大)

坂野秀堯 (神奈川・日本大藤沢高職)

佐長拓未 (同志社大)

高橋海大 (日体大)

永松 麗 (周南公立大)

藤田光星 (国士舘大)

全日本選手権を制した成國大志 (MTX GOLDKIDS) が、アジア選手権で世界 2 位の選手を破って優勝した。どんな実力を見せるか。

全日本選手権 2 位の高田熙 (日体大)、昨年 65kg 級 3 位で全日本選手権はこの階級で 3 位の計良涼介 (早大) のほか、大野恵太郎 (日体大) が学生二冠 (全日本学生選手権・全日本大学選手権) 奪取と頭角を現わしている。

昨年のインターハイ 65kg 級王者の高橋海大 (日体大) は、4 月の JOC 杯 U20 で計良涼介を破って優勝。トップレベルの実力を見せた。西日本学生王者で全日本学生選手権 2 位の永松麗 (周南公立大) を含め、学生の強豪がアジア王者に挑む。

【74kg 級】 =10 選手

佐藤匡記 (山梨学院大)

《2021 世界選手権 13 位

／2021 年全日本選手権 3 位》

高谷大地 (自衛隊)

《2021 年全日本選手権優勝》

木下貴輪 (クリナップ)

《2021 年全日本選手権 2 位》

金子将大 (トラスト)

河村 歩 (立 大)

小柴伊織 (日体大)

志賀晃次郎 (警視庁福生警察署)

平野棋薪 (周南公立大)

深田雄智 (早 大)

礪屋亮太郎 (日 大)

東京オリンピック代表の乙黒圭佑は不出場。昨年の世界選手権 70kg 級代表で階級を上げた基山仁太郎は負傷で不出場。

全日本選手権優勝で 2020・22 年アジア選手権 3 位の高谷大地 (自衛隊) に、全日本選手権 2 位の木下貴輪 (クリナップ)、昨年優勝で世界選手権代表の佐藤匡記 (山梨学院大) が挑む。

2020 年全日本大学選手権優勝で昨年 4 位の志賀晃次郎 (警視庁福生警察署)、全日本学生選手権優勝の深田雄智 (早大)、全日本大学選手権で 1 年生王者に輝いた小柴伊織 (日体大)、同選手権で深田を破って 2 位の礪屋亮太郎 (日大) らがどこまで食い込めるか。

【79kg 級】 =12 選手

高橋夢大 (日体大)

《2021 年全日本選手権優勝》

山倉孝介 (早 大)

《2021 年全日本選手権 2 位》

村山貴裕 (自衛隊)

《2021 年全日本選手権 3 位》

阿部宏隆 (KAWAMASU)

阿部侑太 (秋田刑務所)

内田貴斗 (専大)

奥井真吉 (国士舘大)

川原大夢 (専 大)

佐藤大斗 (専 大)

竹内祐斗 (山口県体育協会)

田中勝大 (拓 大)

山崎弥十朗 (サイサン)

昨年の世界選手権代表の吉田隆起は 86kg 級へアップ (今大会は負傷欠場)。全日本選手権で勝った高橋夢大 (日体大) がアジア選手権 3 位になる実力を示した。昇り調子の勢いを発揮するか。

全日本選手権 2 位の山倉孝介 (早大)、同 3 位の村山貴裕 (自衛隊)、同 86kg 級 3 位の山崎弥十朗 (サイサン) が、その勢いを阻止するか。2020 年アジア選手権 3 位の奥井真吉 (国士舘大) が割って入るか。

昨年 2 位の阿部侑太 (秋田刑務所) は、同大会では吉田隆起にフォール勝ちしている。地方在住選手の意地を見せられるか。

【86kg 級】 =7 選手

白井勝太 (クインテット)

《2021 年全日本選手権優勝》

松雪泰成 (レスターホールディングス)

《2021 年全日本選手権 2 位》

五十嵐文彌 (山梨学院大)

市川アンディ (神奈川大)

奥井眞生 (自衛隊)

権田 龍 (周南公立大)

白井達也 (日体大)

東京オリンピック 86kg 級代表の高谷惣亮は 92kg 級に出場。世界選手権代表の石黒隼士は負傷で欠場。

全日本選手権決勝を争った白井勝太 (クインテット) と松雪泰成 (レスターホールディングス) の優勝争いが再現されるか。そのときは白井が勝ったが、5-4 の僅差で実力は伯仲。

階級を上げて 2 大会目となる奥井眞生 (自衛隊) が、2019 年 74kg 級世界 5 位の実力を発揮するか。学生二冠王 (全日本学生選手権・全日本大学選手権) の白井達也 (日体大) の殊勲はあるか。昨年インターハイ 80kg 級王者で、今年の JOC 杯 U20 を制した五十嵐文彌 (山梨学院大) が、どこまで上位に食い込むか。

【92kg 級】 =9 選手

高谷惣亮 (ALSOK)

《2021 年東京オリンピック 86kg 級 10 位

／2021 年全日本選手権優勝》

大津拓馬 (ALSOK)

《2021 世界選手権 11 位

／2021 年全日本選手権 2 位》

阿部 光 (中 大)

小尾優弥 (九州共立大)

坂井孝太郎 (明 大)

竹内亮亘 (ALSOK)

三浦哲史 (拓 大)

山口拓真 (周南公立大)

山中良一 (愛知・名古屋工高教)

東京オリンピック 86kg 級代表の高谷惣亮 (ALSOK) が、92kg 級で全日本選手権 2 連覇中。昨年は 3 試合連続テクニカルフォール勝ちという強さだった。全日本選抜選手権での 92kg 級初制覇なるか。

全日本選手権 2 位の大津拓馬 (ALSOK) が、アジア選手権 5 位などの経験を生かして再度挑む。同門による決勝が実現するか。

昨年全日本学生選手権で 1 年生王者に輝いた三浦哲史 (拓大) は 4 月の JOC 杯 U20 優勝と好調。昨年 2 位で全日本選手権 4 位のベテラン、山中良一 (愛知・名古屋工高教) らが、上位の一角を崩すことができるか。

【97kg 級】 =7 選手

石黒峻士 (新日本プロレス職)

《2021 世界選手権 15 位

／2021 年全日本選手権優勝》

山崎祥平 (早 大)

《2021 年全日本選手権 3 位》

伊藤慧亮 (明 大)

伊藤飛未来 (日体大)

奥田歩希 (九州共立大)

品田陽平 (法 大)

園田 平 (自衛隊)

昨年のアジア選手権 3 位で全日本選手権優勝の石黒峻士(新日本プロレス職)が昨年に続く 2 連覇を達成するか。昨年の世界選手権 (2 連敗)、今年のアジア選手権 (初戦敗退) とも不本意な結果だったので、しっかり勝って世界へ再挑戦したいところ。

全日本選手権 2 位の吉田ケイワンは負傷で欠場。同 3 位の山崎祥平 (早大)、昨年 2 位の伊藤飛未来 (日体大)、同 3 位の園田平 (自衛隊) らが、その牙城を崩せるか。負傷明けの伊藤は、5 月の東日本学生リーグ戦で活躍し、復調を見せつけた。

【125kg 級】 =7 選手

山本泰輝 (自衛隊)

《2021 世界選手権 16 位

／2021 年全日本選手権優勝》

二ノ宮寛斗 (不二精機)

《2021 年全日本選手権 2 位》

出頭 海 (中 大)

《2021 年全日本選手権 3 位》

田場尚幸 (南九州大)

對比地旭陽 (山梨学院大)

福井裕士 (天理大コーチ)

藤田龍星 (日 大)

2020・21 年全日本選手権で優勝し、第一人者の地位を確立しつつある山本泰輝 (自衛隊) が 4 大会連続 5 度目の優勝を目指す。ここ数年のライバルたちはマットを去ったが、新たな強敵は昨年 of 全日本選手権決勝で対戦した二ノ宮寛斗 (不二精機)。3-2 のスコアでの辛勝だった。今大会はどうなるか。

昨年 2 位の福井裕士 (天理大コーチ)、全日本学生選手権優勝で全日本選手権 3 位の出頭海 (中大) が優勝争いにかからめるか。4 月の JOC 杯 U20 優勝の藤田龍星 (日大) から若手の台頭はあるか。